

第9回 苫小牧市スポーツ推進審議会結果報告書

【日時】 平成29年12月19日（火）18時～19時30分

【場所】 市役所本庁舎5階第2応接室

【出席】

▽苫小牧市スポーツ推進審議会委員 10名（12名中）

田崎会長、本間副会長、大村委員、大山委員、島崎委員、長岡委員、
中村委員、藤岡委員、増田委員、町田委員

▼事務局（市）

スポーツ推進室：澤田室長、神保主幹、伊藤主査、木村主査、佐藤隼主事、
戸澤主事、林川主事、浦主事、佐藤恵主事

～～～議事内容（審議経過・意見・質問等）～～～

1 開会（澤田室長）

2 議事

※ 以下の質疑・意見については、▽は委員発言、▼は事務局発言。

(1) 平成29年度スポーツ施策実施報告及び平成30年度スポーツ施策
について（※事務局から説明）

●推進計画に掲載している施策の平成29年度の実施状況と平成30年
度の開催予定を説明（別添資料1～5ページ参照）

【質疑・意見】

▽本間副会長

資料の1ページ1番のとまこまいマラソン大会の開催について、緑跨線橋の工事の影響によりコース変更の検討も行っている。市と協力して大会に影響のないコースで実施できるように警察に要望したい。

▼事務局

市として現在交通量の調査も行っているが、未だ交通量が固まっていないこともあり、数字としてはまとまっていない。他市ではエリアを封鎖しての実施であるため開催がしやすい状況もある。

▽島崎委員

かつては今とは逆側の明野側からスタートするコースで開催していた。コース変更ができないのであれば、参加者には残念だが関門閉鎖をするしかないのではないかと。

▽増田委員

千歳市は支笏湖方面へのコースとしているが、とまこまいマラソンは支笏湖へのコースとはできないのか。

▽本間副会長

明野方面のコースは交通量の問題、支笏湖方面のコースは道路が狭く危険があることから断念している。

▽大村委員

資料の1ページ3番の北海道障がい者スポーツ大会について、陸上競技に参加したが全道各地から選手が来ていた。毎回準備作業で混乱が生じると聞いていたが、今回は関係者の協力もあり順調に実施できた。当日の晴天もあり大盛況の内に終了できたと考えている。

▽長岡委員

全道各地から選手が集まったが、運営以外の部分で会場や宿泊施設等の評判や苫小牧のイメージというのは聞いていないかと。

▽大村委員

宿泊は旅行会社で取りまとめていたので把握はしていないが、施設については概ね好評であった。開始前は福祉トイレ数等を気にしていたが、参加者がアスリートだったこともあって問題はなく、施設の評判は悪くなかった。

▽大山委員

資料の1ページ4番の中学駅伝苫小牧大会に参加したが、当日の天候が不安定で警報が出ていた中での実施であった。参加校から天候の判断基準や対応を明確にし、事前連絡等があったほうがよいとの意見をいた

だいた。

▽本間副会長

他の大会では雷雨による事故で補償の問題に発展したケースもある。事務局の苫小牧市体育協会でもコース途中の避難経路や連絡網の整備を検討していると聞いている。

▽本間副会長

資料の2ページ17番のスポーツマスター事業について、今年は50人応募があったが40人に定員を設けて実施した。スポーツ教室は練習効率を考慮すると定員を設けて実施する必要がある。

▽長岡委員

資料の3ページ28番の70歳以上の方へのスポーツ施設無料券発行について実績はどうか。団体での運動が苦手な高齢者の方も多いと思うので、イベント以外に1人で運動するのをサポートできる事業があればよい。

▼事務局

手元に資料がないため数字は出せないが、各施設から無料利用の報告を毎月受けており、結構な利用がある。施設と協議して高齢者の方を引き込む方法を検討している。

▽本間副会長

他部署の話になるが、市の健康づくり協議会でも施設と協力して取り組みを進めている。

▽町田委員

医学的な見地から、私が診ている60、70代の方はスポーツの機会が皆無になっている。リハビリが必要な方は医療機関で指導を受けることができるが、その一歩手前の方だと自分の程度に合った運動をする場、教えてもらう場がほとんどない。ウォーキングイベントを遅いスピードでも間に合うような時間配分にする、途中でレク要素を入れる等、リハビリ手前の方や激しいスポーツができない方も参加できる事業があれば症状が重くなる前に手を打てる。

▽島崎委員

ねんりんピックのようなものを市内何箇所でも実施するとよいのではないか。ねんりんピックのために各地域で行われる練習は普段運動をしていない人も楽しんで運動している。種目をもっと簡単にし、各地域で実施する方がスポーツをする機会を提供できる。

▽増田委員

地域でスポーツ大会を行うと場所や道具がないという話を聞くが、場所は学校開放を使用できるし、道具も総合体育館等の公共施設で貸出している場合も多い。

(2) 「苫小牧市スポーツ施策についての意見書」について（※事務局から説明）

- 第8回審議会後に提出いただいた意見書について報告

【質疑・意見】

▽藤岡委員

観光協会でも様々な周知方法を試みているが、広報については本当に難しい。情報が多いと目に留まりにくい。他者の媒体を利用すると自分達の意図とは異なった掲載になる場合も多い。町内会の回覧を参考とした手軽な手法があればと考えている。

▽本間副会長

町内会の回覧も見ないで回される場合が多いため、全戸配布である広報を見てもらいやすい形にするのが重要ではないか。

(3) 平成29年度のスポーツ施設整備状況について（※事務局から説明）

- 緑ヶ丘公園サッカー場の改修について説明

(4) 今後のスケジュールについて（※事務局から説明）

- 次回開催は4月予定（3月に案内送付）

3 その他

▼事務局

来年2月に開催される平昌（ピョンチャン）オリンピックに出場が決まっているアイスホッケー女子日本代表の応援事業を計画している。日程が合えば1月の強化合宿に合わせて表敬訪問・壮行会を実施したいと考えている。また、放映のスケジュール次第だが、2月に白鳥王子アイスアリーナでパブリックビューイングも実施したいと考えている。

▽大村委員

パラアイスホッケーでも苫小牧市に縁のある2選手が選ばれる可能性がある。選手の都合が合えば連携して表敬訪問を実施したいと考えている。

4 閉会